

校長室だより

校長 大山 寛

「前期を振り返って」
皆さんおはようございます。今日で前期が終わります。前期、皆さんには、学校教育目標でもある、「凡事徹底」、そして「自己への挑戦」・「他への貢献」を目標に、また、生徒会テーマ「飛翔」をもとに、活動していました。皆さんにも様々な出来事があつたかと思いますが、試行錯誤しながら頑張って活動してくれたことに心から感謝をしています。それは、人と人との深くつなぐつなげる大切な言葉です。昨年も話をしたことですが、その言葉とは、この二つの言葉です。「ありがとう」と「ごめんなさい」という言葉です。人間が生きていくためには、自分一人では生きていけません。人の間と書いて人間です。その人間関係の中でも、「ありがとう」と「ごめんなさい」をしつかり心から言える人は、トラブルが少ない傾向

前期終業式 ～振り返りとこれからのこと～



終業式での代表発表。4名の生徒が自分の意見を堂々と述べました！



西合志南中学校
学校通信
令和7年10月10日
第7号
発行責任者
大山 寛
アクト

10月10日（金）に前期終業式が行われました。各学年及び生徒会執行部より一名ずつ、計4名の代表者が前期を振り返つて発表を行いました。発表では、がんばったこととして、挨拶や集団行動、部活動や習い事などが挙げられました。また、悩んだこととしめては、全体をどうまとめてまとめるか、行動や話すことの難しさを感じたという

向にあると思います。なぜならば、自己中心的ではなく、謙虚さを持ち備えているからだと思いません。謙虚という言葉を、辞書等で調べてみると次のように意味が書いてあります。謙虚さのようないい態度などを意味する言葉。」具体的には、次のような意味合いが含まれます。三つあります。

一つめは、控えめである「すなわち、自分の能力や立場を誇示せず、慎ましい態度で人に接することです。

二つめは、素直であること。自分の非を認めること意見を素直に受け入れ、自分の非を認めること

三つめは、おごり高ぶらないこと。自分の実力を過信せず、常に学ぶ姿勢を持つことです。

最後になりますが、後期は次の学年の準備期間にもなります。三年生は、卒業後を意識して、二年生は、西南中最上学年になることを意識して、一年生は、後輩の憧れの存在になることを意識して生活を送つて、さらなる「飛翔」をしてほしいと思います。

また、秋休みは、交通事故やトラブル等が無くなることを意識して、一年生は、後輩の憧れの存在になることを意識して生活を送つて、さらなる「飛翔」をしてほしいと思います。

ようやく、先を見通して行動し、様々なルールを守り、人に迷惑をかけず、規則正しい生活を送つてください。後期が始まると、元気な姿をみせてください。

（令和7年度 前期終業式 校長講話より）

代議員としての責任を全うしようとする姿も見られました。さらには、後期の「合唱コンクール」への意気込み発表もありました。

一人ひとりの生徒が「凡事徹底」「自己への挑戦」「他への貢献」を唱和する意気込みました。

さるに、生徒会スローガン「飛翔」のもと、各委員会による特色ある取組に学校生活が活気づきました。

学校教育目標である「凡事徹底」「自己への挑戦」「他への貢献」を唱和する意気込みました。各学年事前学習に取り組み、貴重な体験となりました。

学習が行われました。各学年で二年生の職場体験が行われました。各学年事前学習に取り組み、貴重な体験となりました。

9月10日～11日の集団宿泊教室が、9月9日～11日の三日間で、第一部がヴィーブル文会館にて開催されました。第一部クラッソクス、第二部はツボステージで、楽しく演奏になりました。

9月21日に吹奏楽部の定期演奏会が開催されました。

集団宿泊教室と職場体験学習

第33回吹奏楽部定期演奏会

学校ホームページ更新中！

左記QRコード読み取り電子媒体でご覧の方はQRコード自体をタップすればページにジャンプします。

